

令和7年

広野町 はたちを祝う会



令和7年広野町はたちを祝う会が1月12日(日)、広野町公民館において執り行われ、新たに二十歳を迎えた対象者34人のうち25人が出席しました。スーツや振袖に身を包んだ参加者は、旧友との再会を喜び、それぞれの目標に向かって気持ち新たにしました。

式典では、遠藤町長から鈴木花萌さんに成人証書の授与が行われ、遠藤町長が「新しい時代を切り拓くのは、いつの時代も若者の柔軟で斬新な『発想』と『行動力』、そして情熱による『挑戦』からです。皆さんの高い志と熱い情熱をもって、これからの日本が輝かしい未来へと前進し、更なる進化を遂げるため、皆さんの若い力を存分に発揮され、広く社会にご活躍されますことを期待しています」と式辞を述べました。来賓の皆さんから数多くの祝辞が贈られました。出席者を代表し、井上由海さんと園部寛太さんが「はたちの夢」を発表し、吉田明永さんが謝辞を述べました。

震災と原子力災害で避難生活を余儀なくされ、コロナ禍という未曾有の経験乗り越え、二十歳を迎えられた皆さん、誠にありがとうございます。



謝辞

成人代表 吉田 明永さん
よしだ なるなが



本日、このように晴れやかな成人の日を迎えることができ、大変うれしく思います。

私たち新成人のために、このような素晴らしい式典を催していただき、心より感謝申し上げます。

ご来賓の方々からいただいたお祝いのごときばや貴重なお話を深く胸に刻み、新成人代表として御礼申し上げます。

コロナ禍という未曾有の状況を経験し、制限の多い中で日々を過ごす難しさを感じた時期もありましたが、こうしてみんなと再会することができ、とても嬉しく思います。

振り返ると、ここまで成長できたのは、家族、先生方、友人、そして地域の皆様

の支えがあったからだと感じています。これからは、社会の一員として自分達の役割を果たし、恩返ししていきたいと思っています。

私たちは二十歳を迎えたばかりで、社会人としてはまだまだです。社会に出て働いている人、学生として学業に励んでいる人など、それぞれ環境は違いますが、「挑戦を恐れず努力を続ける」ことを信条に、責任ある大人として歩んでいく決意をここに誓います。

どうかこれからも暖かい目でご指導ご鞭撻くださいますようお願いいたします。簡単ではありますが、これをもって新成人代表の謝辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。